

オーストラリア 2019 年の相場展望

2018 年 12 月 21 日

<2019 年のオーストラリアの注目ポイントは、連邦政府選挙と米中貿易戦争>

2019 年のオーストラリアの 1 つ目の注目ポイントは、5 月までに実施が予定されている連邦政府選挙です。

現在、野党・労働党の支持率が与党・保守連合の支持率を上回っており、次回の選挙では労働党の勝利が予想されています。こうした中、12 月に発表された最新の見通しでは、2018-19 年度の財政赤字が当初の予算から改善するとの見通し(約 7,500 億円※1豪ドル=81 円で換算)が示されました。支持率が低迷する保守連合は財政収支の改善を踏まえ、選挙前に景気刺激策を発表する可能性があります。こうした政策が現実化すれば、インフラ(社会基盤)投資の拡大などにより堅調に推移している経済への追加のプラス材料となることから、選挙と政策の動向に注目です。

2019 年のオーストラリアの 2 つ目の注目ポイントは、米中貿易戦争の行方です。

米中貿易戦争が激化し中国経済が減速した場合、オーストラリアにもその影響が及ぶと懸念されるため、米中の通商交渉には注目です。ただし、中国政府は景気刺激策を打ち出すことで景気をうまく軟着陸させることができるとみており、中国経済の過度な減速を心配する必要はないとみています。また、オーストラリアの高品質な鉄鉱石に対する中国の需要は大きいとみられることも、オーストラリア経済を下支えする材料だと考えています。

<豪ドルは 2019 年 3 月にかけて変動が大きくなりやすいが、堅調な国内経済が下支えに>

経済は堅調な一方で、インフレ圧力は高まらないとみられることから、RBA(オーストラリア準備銀行)は当面の間は利上げを行わないとみており、RBA の金融政策が相場の材料になりにくい環境が続くと考えています。

こうした環境の中、米中の通商交渉が合意に至るのか否かへの注目が高まるのに伴い、豪ドルは 2019 年 3 月にかけて、変動が大きくなりやすいと考えています。

しかし、インフラ(社会基盤)投資や LNG(液化天然ガス)輸出の拡大、政府の景気刺激策などを受けて堅調に推移するとみられるオーストラリア経済が豪ドルの下支えとなり、変動が大きい中でも豪ドルは底堅い推移になるとみています。

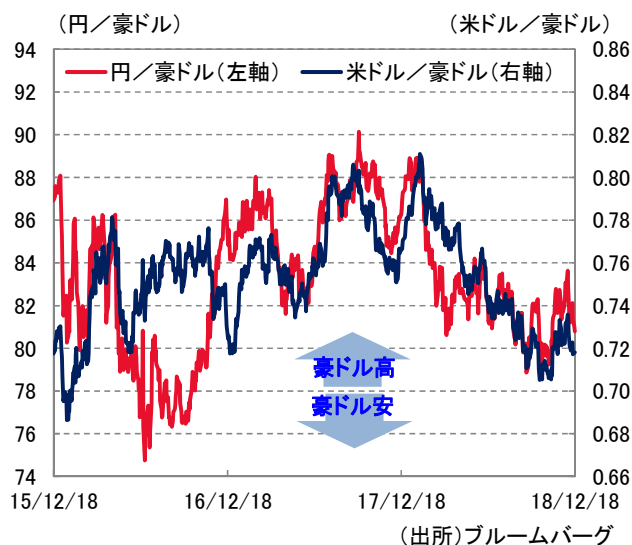
また、豪ドルは対米ドルでは金融危機後の最安値をうかがう展開となっていますが、オーストラリアの堅調な経済環境などに照らすと、豪ドルは割安な領域に位置していると判断しています。このような豪ドルの割安感も豪ドルを下支えすると考えています。

先進国内では比較的金利水準が高く、通貨も割安感がある豪ドル建て債券は、中長期的な保有に適した投資機会を提供すると考えています。

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

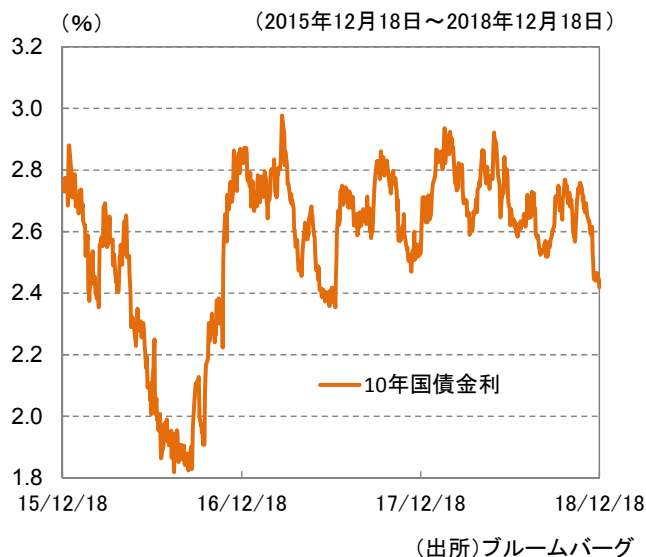
《為替の推移》

(2015年12月18日～2018年12月18日)



《国債金利の推移》

(2015年12月18日～2018年12月18日)



以上

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management